

■ヨルダン・中国：ヨルダン、原子力発電所新設計画を大型炉から小型炉へ変更

ヨルダンの原子力委員会委員長 Dr.カルド・トゥーカーンは 2018 年 6 月 29 日、同国はロシア協力による合計出力 200 万 kW の原子力発電所新設計画を放棄したと発表した。同氏は記者会見で、原子力委員会は大型炉の建設計画を止め、小型炉の建設を検討することになったと述べた。小型炉は、投資規模が小さく、大型炉に比べ国際的に資金調達が容易であり、福島第一事故以降、世界的に広く設計・計画が進められていると同氏は説明した。また同氏によると、ヨルダン原子力委員会は、中国核工業集团公司（CNNC）との間で、中国技術の経済的フェージビリティスタディを実施するために 2 件の覚書を 2018 年に締結した。同委員会は、中国で建設中のものと同じ小型炉を建設する方向で現在交渉を進めていることも明らかにした。ただし、中国の小型炉が実際に稼働し、さらに系統接続後 2 年間の運転が確認されるまでは、契約には署名しないとしている。